

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2002-165982(P2002-165982A)

【公開日】平成14年6月11日(2002.6.11)

【出願番号】特願2000-365121(P2000-365121)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月3日(2003.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域内に、複数の入賞口、大入賞口、図柄表示領域を有する図柄表示装置および始動領域を有し、遊技領域内に打ち込まれた遊技球の始動領域への通過を契機に、図柄表示装置の図柄表示領域に表示される図柄が、変動を開始し、変動開始後に、遊技者が表示図柄を視認可能な速度になる仮停止を実行し、仮停止表示後に所定回数だけ再変動させて最終停止図柄を確定表示する制御がなされるパチンコ遊技機において、

前記図柄表示装置の最終停止図柄が、予め決められた大当たり図柄で揃った場合には、大入賞口を開放して、遊技球の入賞を容易にする遊技状態となり、しかもこの大当たり図柄には、通常図柄と特定図柄とがあって、特定図柄の場合には、次回で始動領域へ入賞した際の大当たり図柄の発生確率を、通常図柄の場合よりも高くするとともに、再変動の回数を乱数による抽選により決定し、該再変動回数により、仮停止した通常図柄から特定図柄に変更されて確定停止する昇格率を変化させるようにした図柄変動手段を備えたことを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項2】

前記再変動回数が増えるに応じて前記特定図柄になる昇格率を増加することを特徴とする請求項1に記載のパチンコ遊技機。

【請求項3】

前記再変動回数が増えるに従って前記特定図柄になる昇格率を低下することを特徴とする請求項1に記載のパチンコ遊技機。

【請求項4】

前記再変動回数が予め決められた回数になると前記特定図柄になることを特徴とする請求項1に記載のパチンコ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】本発明は、図柄表示装置の図柄表示領域に表示される表示図柄

の再変動機能を有するパチンコ遊技機の図柄変動方式に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、遊技領域内に、複数の入賞口、大入賞口、図柄表示領域を有する図柄表示装置および始動領域を有し、遊技領域内に打ち込まれた遊技球の始動領域への通過を契機に、図柄表示装置の図柄表示領域に表示される図柄が、変動を開始し、変動開始後に、遊技者が表示図柄を視認可能な速度になる仮停止を実行し、仮停止表示後に所定回数だけ再変動させて最終停止図柄を確定表示する制御がなされるパチンコ遊技機において、前記図柄表示装置の最終停止図柄が、予め決められた大当たり図柄で揃った場合には、大入賞口を開放して、遊技球の入賞を容易にする遊技状態となり、しかもこの大当たり図柄には、通常図柄と特定図柄とがあって、特定図柄の場合には、次回で始動領域へ入賞した際の大当たり図柄の発生確率を、通常図柄の場合よりも高くするとともに、再変動の回数を乱数による抽選により決定し、該再変動回数により、仮停止した通常図柄から特定図柄に変更されて確定停止する昇格率を変化させるようにした図柄変動手段を備えたことを特徴とするパチンコ遊技機である。